

目 次

ハワイ諸島における天文学	ウォルター R. スタイガー	126
黄道光と惑星間物質のシンポジウムに出席して	田 鍋 浩 義	128
学会だより——大塚奨学金希望者募集, 欧文報告編集係よりのお願い		130
月報アルバム——春季年会記念写真, ハワイ大学観測所		131
天象欄——8月の天文暦, 惑星めぐり(7)-月は生きている		134
星の形成に関連して	菊 池 仙	135
オリオン領域の研究会の記録	菊 池 仙・石田 蕙 一	137
日本天文学会昭和 42 年度春季年会記事		140
秋季年会のお知らせ		142
賛助会員名簿		142

—表紙写真説明—

黄道光——1966年1月24日東京天文台堂平観測所で撮影されたもので、画面の下辺中央からやや左上に伸びた光芒が黄道光である。右辺中央から上辺中央にかけて銀河が見える。ニコカメラに魚眼レンズ(焦点距離 8mm, F8)をつけ、自動流星儀の赤道儀架台を利用して18時34分から19時14分まで40分間露出, フィルムはトライ X。

新版・新天文学講座

A5判・各約300頁・定価各1000円

- | | | | |
|------|-------------------|---|------|
| 第1巻 | 星 | 座 | 野尻抱影 |
| 第2巻 | 太陽 | 系 | 古畑正秋 |
| 第3巻 | 太陽 | 陽 | 野附誠夫 |
| 第4巻 | 地球と | 月 | 広瀬秀雄 |
| 第5巻 | 地球の物理 | | 前田憲一 |
| 第6巻 | 恒星の世界 | | 藤田良雄 |
| 第7巻 | 原子核物理学と
星の内部構造 | | 一柳寿一 |
| 第8巻 | 銀河系と宇宙 | | 鍋木政岐 |
| 第9巻 | 天文学の応用 | | 鈴木敬信 |
| 第10巻 | 電波天文学 | | 畑中武夫 |
| 第11巻 | 天文台と観測器械 | | 宮地政司 |
| 第12巻 | 天文学の歴史 | | 藪内清 |
| 第13巻 | 天体の位置観測 | | 清水 彊 |
| 第14巻 | 天体の軌道計算 | | 渡辺敏夫 |
| 第15巻 | 天体の物理観測 | | 大沢清輝 |

東京新宿三栄町8 恒星社 電話(351) 2474 1003



天文博物館

五島プラネタリウム

東京・渋谷・東急文化会館8階

電話 青山(401) 7131, 7509

☆ 7月 たなばたと月の満ち欠け

☆ 8月 夏の星座と天の川

投影時間	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
平日	団体 9.30	11.00	12.30	2.00	3.30	5.30	7.00
土日・祭日	9.30	11.00	12.30	2.00	3.30	5.00	6.30

○11月1日～3月20日の間は平日7.00の回は中止します。

○休館日 毎週月曜日(ただし夏休み中は無休館です。)

○料金 大人150円・学生100円・小人70円

